

2015年

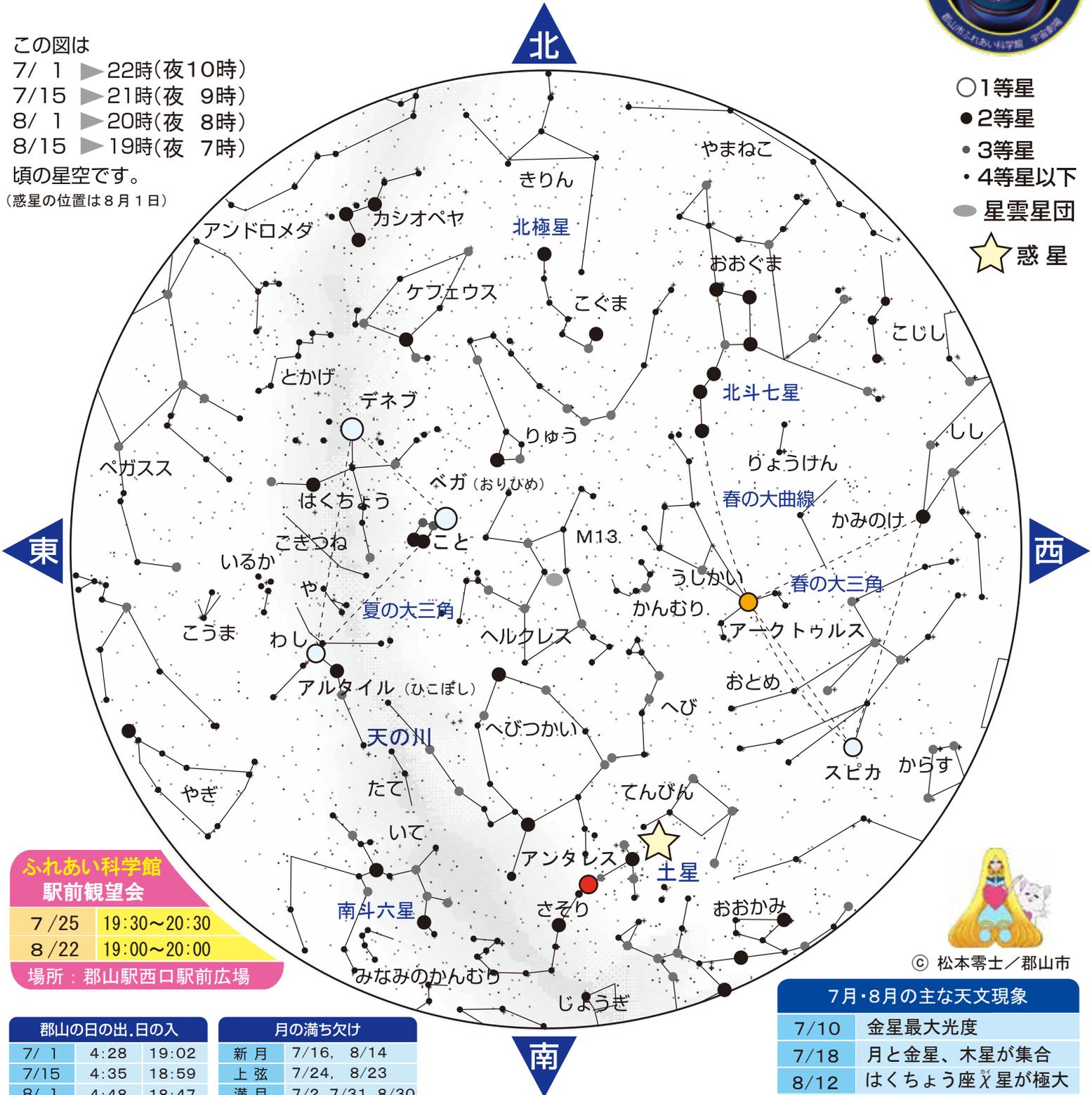
# 7月▶8月の星空



この図は  
 7/ 1 ▶ 22時(夜10時)  
 7/15 ▶ 21時(夜 9時)  
 8/ 1 ▶ 20時(夜 8時)  
 8/15 ▶ 19時(夜 7時)

頃の星空です。  
 (惑星の位置は8月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



ふれあい科学館  
駅前観望会

7/25 19:30~20:30  
 8/22 19:00~20:00

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

### 7月・8月の主な天文現象

7/10	金星最大光度
7/18	月と金星、木星が集合
8/12	はくちょう座γ星が極大
8/12~13	ペルセウス座流星群

郡山の日の出、日の入			月の満ち欠け	
7/ 1	4:28	19:02	新月	7/16, 8/14
7/15	4:35	18:59	上弦	7/24, 8/23
8/ 1	4:48	18:47	満月	7/2, 7/31, 8/30
8/15	4:59	18:32	下弦	7/ 9, 8/ 7

※上弦、下弦は半月です。

今年の始めから空をにぎわせていた金星や木星が7月の下旬には見納めとなり、代わって美しい環を持つ土星が夏の星座とともに観望の好機をむかえます。望遠鏡で見た土星は、麦わら帽子をかぶったようでかわいらしく見えます。

夏休みに海や山などに出かけたときには、惑星のほかに星座や夏の星空の名物・天の川を探してみましょう。月明かりも避けると、さらに夏の星空を楽しむことができます。今年は7・8月中旬の新月の頃に星座や天の川を探すのがおすすめです。

南の低いところに見える土星の近くに、赤い1等星「アンタレス」が見つかり、そこからS字のような形をしたさそり座が見えてきます。夜空の暗さに目が慣れてくると、さそり座のしっぽの辺りからぼうっとした天の川が次第に見えてきます。この天の川をのぼっていくと、3つの1等星が明るさを競うように輝くようすが見えてきます。このうち、こと座の「ベガ」とわし座の「アルタイル」は、日本では七夕の織姫、彦星として古くから親しまれています。梅雨の明けた8月ごろから織姫や彦星は空高く光るようになり、見つけやすくなります。織姫の両隣にはお世話をする女官、彦星の両隣には飼っている牛(あるいは織姫との子どもたち)がついていると言われていいます。明るい星たちと並んでいる小さな星の姿も探してみましょう。夏の星空は見どころがたくさんあるので、夏休みの思い出の一つとして星空めぐりもお楽しみください。

